

# 第5回沖縄鉄軌道市町村会議

## 議事要旨

### 1. 開催状況

日 時：平成30年3月2日（金）15：00～17：00

場 所：沖縄県庁 12階 第1・第2会議室

出席市町村

名護市、大宜味村、東村、本部町、宜野座村、宜野湾市、うるま市、読谷村、北谷町、北中城村、西原町、那覇市、糸満市、豊見城市、南城市、与那原町、八重瀬町

（欠席：国頭村、今帰仁村、恩納村、金武町、沖縄市、嘉手納町、中城村、浦添市、南風原町）

### 2. 主な議題

- （1）推奨ルート案の選定結果について
- （2）概略計画（案）及び計画段階以降に必要な取組・検討事項について

### 3. 議事要旨

- （1）事務局より議題に沿って説明を行い、意見交換がなされた。
- （2）市町村会議での主な意見は下記のとおり。

#### <市町村会議の主な意見について>

- 県が進めている基幹バス構想との関連はどうか。
- 鉄軌道が完成するまでの間、それ以外の大量輸送システムが必要ではないか。例えば、海上輸送について、平行して検討するべきではないか。
- 駅に求められる機能とか規模とか、既存の町とのかかわりが非常に大きいので、そういった駅整備、構想レベルの調査を早めにやって欲しい。
- 駅周辺の駐車場整備、フィーダー交通の充実をお願いしたい。
- 北谷町美浜地域、年間入域客数が100万人に達するような状況であり、フィーダー交通の強化として、現在コミュニティーバス、自動カート運転実走実験を行っている。実験がうまくいけばフィーダー交通の展開ができるんじゃないかと考えている。

- フィーダー交通について、市町村と県と共働により検討を行っていくということで、次年度から実施されるのかと思うが、今の段階でどのような内容になっているのか。
- 南北鉄軌道が時間かかるようであれば、フィーダー交通の先行実施というのも可能性があるのか。
- バスで、八重瀬から那覇に行く場合は、渋滞することが多い国場十字路を経由する路線しかなく、渋滞緩和が課題となっている。そのためには、バス網の再編や新たなシステムの導入が必要と考えるが、その際は乗り継ぎ割引等により運賃が高くならないようにして欲しい。
- 大宜味村では、バスが1時間に1本しか出てない状況であるので、フィーダー交通の充実をお願いしたいが、利用者がすぐに増えるというのは難しいと思う。名護からレンタカーで大宜見村等に北上する車の台数が増えてくるんじゃないかと思うので、道路交通への影響が懸念される。  
また、北部地域は、自然公園に指定されている。観光客の呼び込みと自然保護との両立について、県にも協力して欲しい。
- 構想段階終了後、今後のスケジュールは、どのようになるのか。
- 今後北谷町内で返還予定地が4か所あり、この跡地の活用においては、鉄軌道導入のスケジュールと合わせて検討したい。
- 国との調整状況について教えて欲しい。
- 観光客の視点での意見もあるのか。
- 糸満市としては、新たに物流団地だとか公共交通のターミナルとかを作りたいという構想もあり、人口も増えている状況である。大型ホテルの建設も予定されているので、将来の発展可能性を閉ざさないためにも、糸満市としては今後骨格軸に含めてもらいたい。
- 21世紀ビジョンとか県の総合交通体系の中で糸満までが骨格軸となると示されており、採算性についても、内閣府の調査では、南部の方が北部より需要があるとされているのに、起終点が、那覇と名護とされているのは、おかしいと考える。
- 平成31年10月に市内のバス路線を再編する計画で今取り組んでいる。南城市から那覇は、近距離にも関わらずバスで行くと約1時間ぐらいかかり、渋滞が課題となっている。鉄軌道の着工前、もしくは建設中に、南部まで延伸ということもあり得るのか。
- 南部における交通渋滞等の課題の整理がされてないと感じている。
- 構想段階の手続きを定めた国交省の要領が平成24年度12月に出されており、現在の

県の計画案づくりは、その要領における複数案を一つに絞るっていう手続きになるかと思う。

次の計画段階は、絞った一つの案について詳しく検討を行うものかと思うが、今回まだ 58 号、330 号とか決まってない。そういった観点からもう少し検討が必要ではないか。